

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 23日

岩手県知事
達増 拓也 殿

提出者

住 所 岩手県遠野市小友町32地割91番地
氏 名 株式会社 竜徳工業
代表取締役 及川徳政
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0198-68-2452

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 竜徳工業
事業場の所在地	岩手県遠野市小友町32地割91番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	07 職別工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 14849万円
③ 従業員数	33人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格

A列4番)

-5.6.28

花保セ第148-48号



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】 別紙3, 4のとおり

産業廃棄物の種類

排 出 量

t t

① 現状

(これまでに実施した取組)

【目標】別紙3, 4のとおり

産業廃棄物の種類

排 出 量

t t

②計画

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

別紙3, 4のとおり

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

別紙3, 4のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙3, 4のとおり		
	産業廃棄物の種類		
② 計画	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】別紙3, 4のとおり		
	産業廃棄物の種類		
① 現状	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙3, 4のとおり		
	産業廃棄物の種類		
② 計画	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】別紙3, 4のとおり		
	産業廃棄物の種類		
① 現状	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
② 計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙3, 4のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】別紙3, 4のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

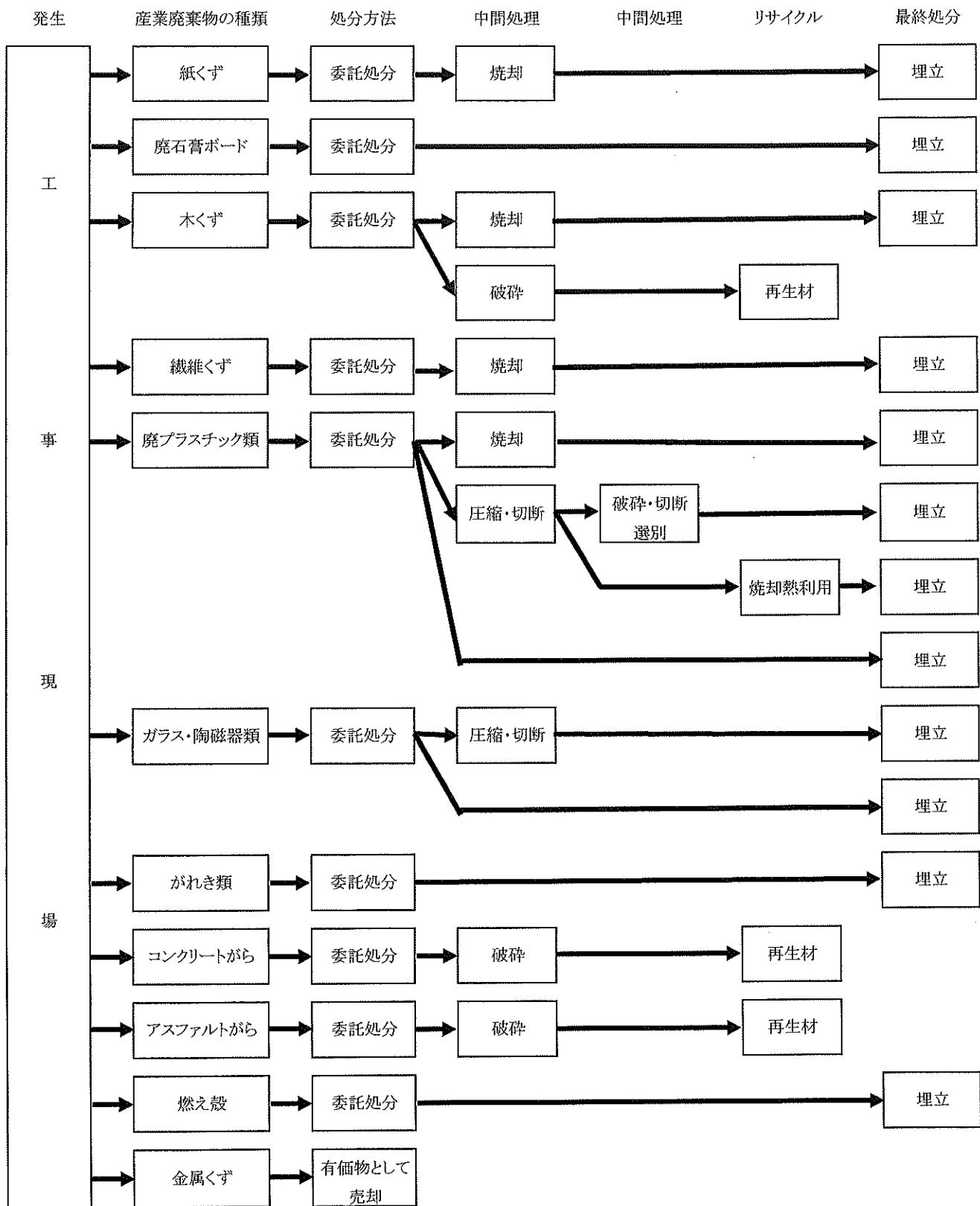
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙3, 4のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】別紙3, 4のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

別紙1

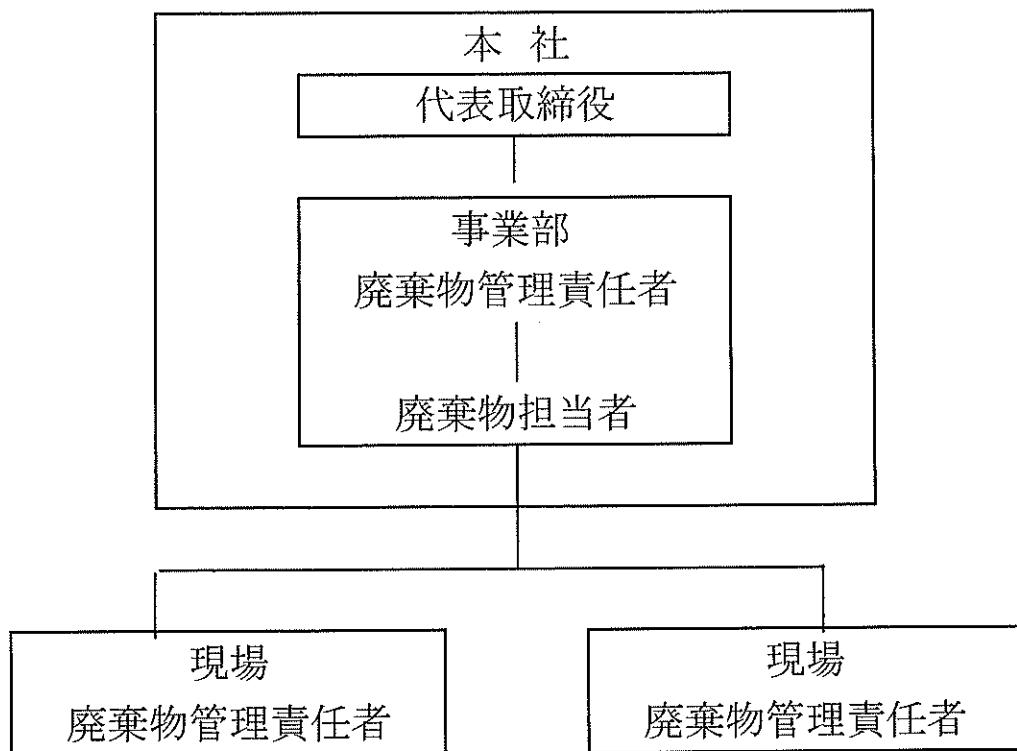
産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙2

(管理体制図)

廃棄物担当部署を設置し、本社及び
各現場に廃棄物管理責任者を配置



別紙3

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現 状	②計 画
(1)発生量の把握 ・マニフェスト伝票を廃棄物の種類ごとに集計して、発生量を把握している。	(1)発生量の把握 ・現状維持
(2)発生抑制 ・廃棄物を適正に分別し再生可能な物は再生利用業者に委託処分する事により、最終処分する廃棄物を減らしている。	(2)発生抑制 ・現状維持
(3)発生抑制に係る課題 ・解体工事を行っているので、売上を上げれば処分する廃棄物の量も増える。発生を抑制する事は難しいので、どれだけ再生利用に回せるか。	(3)発生抑制に係る課題 ・現状維持

産業廃棄物の分別に関する事項

①現 状	②計 画
(1)分別に関する基本方針 ①適正な分別処理を行う。 ②協力会社に対して分別の周知徹底を図る。	(1)分別に関する基本方針 ①、②変更なし
(2)分別方法 ①分別方法 手作業及び重機を使用して種類ごとに分別する。 ②分別区分 コンクリートがら、アスファルトがら、木くず、金属くず、紙くず、 廃石膏ボード、繊維くず、廃プラスチック類、ガラス・ 陶磁器類、その他がれき類、燃え殻に分類する。 金属については、有価物として売却。	(2)分別方法 ①分別区分 ・変更なし ②分別区分 ・変更なし
②保管方法等 ・工事現場でコンテナバック、カゴ、に入る物は、種類毎に分別して入れる。入らない物は、コンテナに入れるか、置場を決め種類毎に置く。	②保管方法等 ・変更なし
(3)分別に係る課題等 ・いかに効率的に分別出来るか。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現 状	②計 画
・実施していない。	・実施予定なし。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現 状	②計 画
・行っていない。	・予定なし。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現 状	②計 画
・行っていない。	・予定なし。

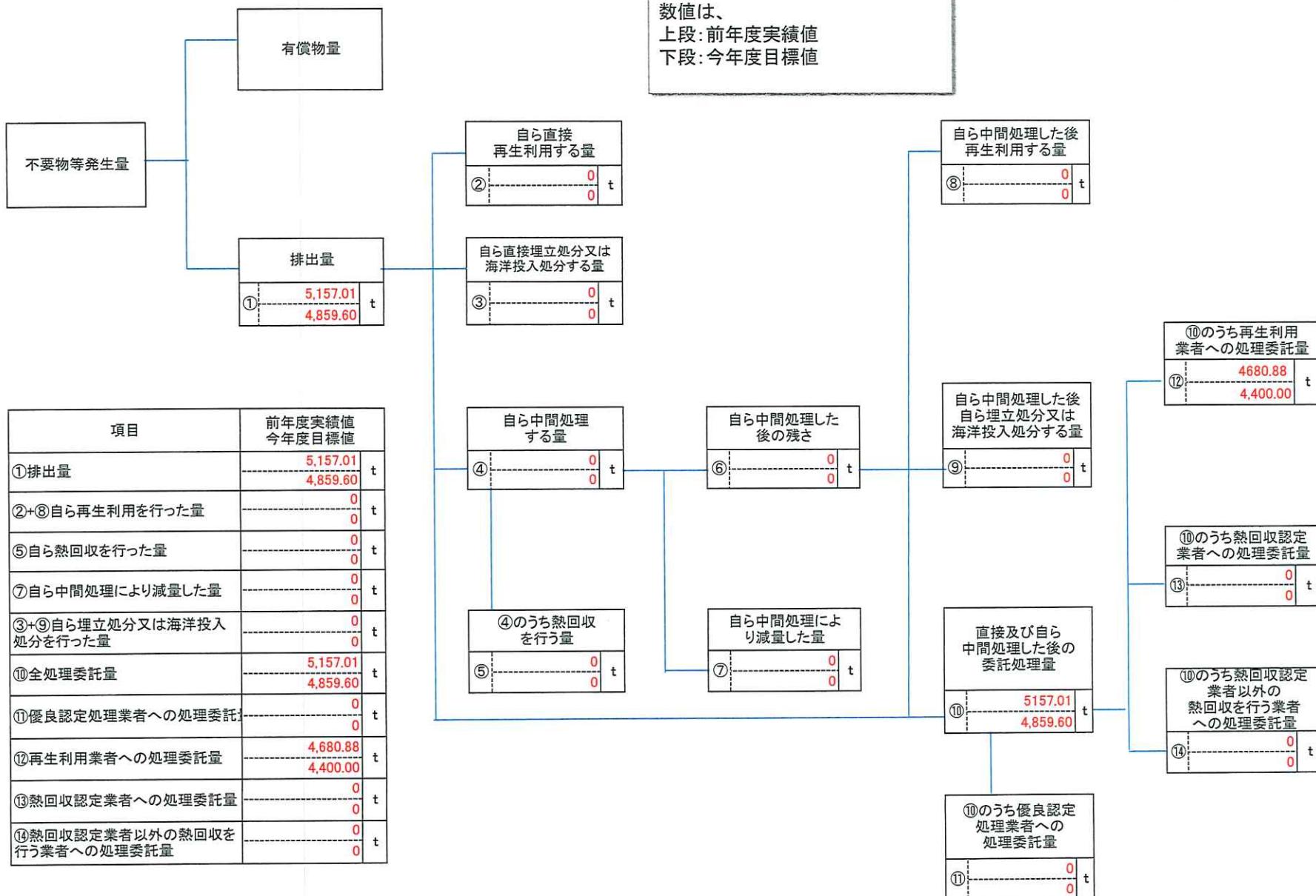
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現 状	②計 画
(1)優良認定業者への処理委託 ・行っていない。	(1)優良認定業者への処理委託 ・予定なし。
(2)再生利用業者への処理委託 ・木くず(一部)、コンクリートがら、アスファルトがらは、再生利用業者に処理委託している。	(2)再生利用業者への処理委託 ・現状維持
(3)認定熱回収業者への処理委託 ・行っていない。	(3)認定熱回収業者への処理委託 ・予定なし。
(4)認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託 ・行っていない。	(4)認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託 ・予定なし。
(5)その他 現場の廃棄物管理担当者がマニフェスト伝票によりその日に発生した廃棄物の種類・量を集計し作業日報に記入し、マニフェスト伝票と共に、本社廃棄物担当者に提出する。本社廃棄物担当者は処理内容等をチェックし整理している。	(5)その他 ・現状維持

【別紙4】前年度の実積と今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 全体)

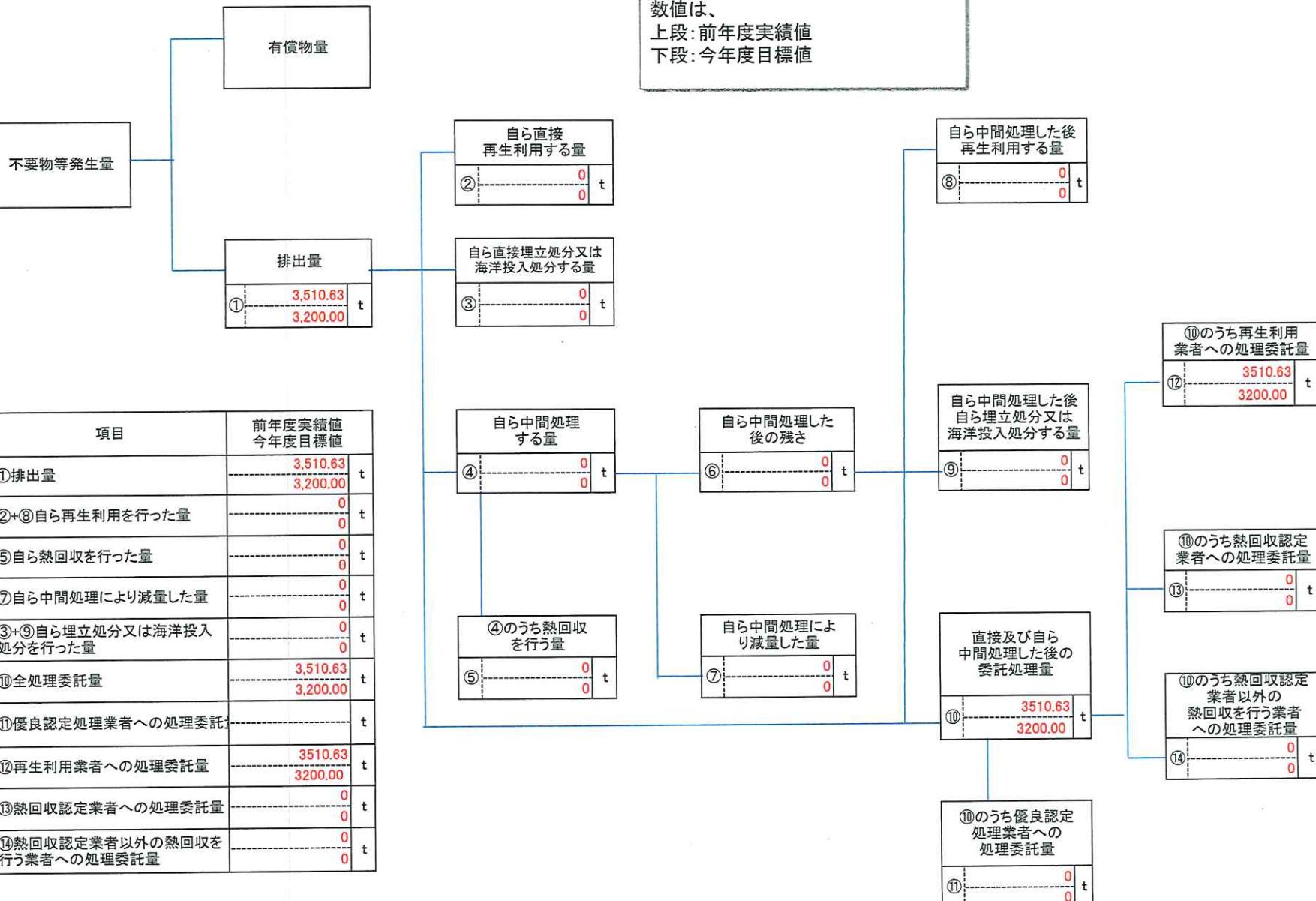
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙4】前年度の実績を今年度の計画

(産業廃棄物の種類: コンクリートがら)

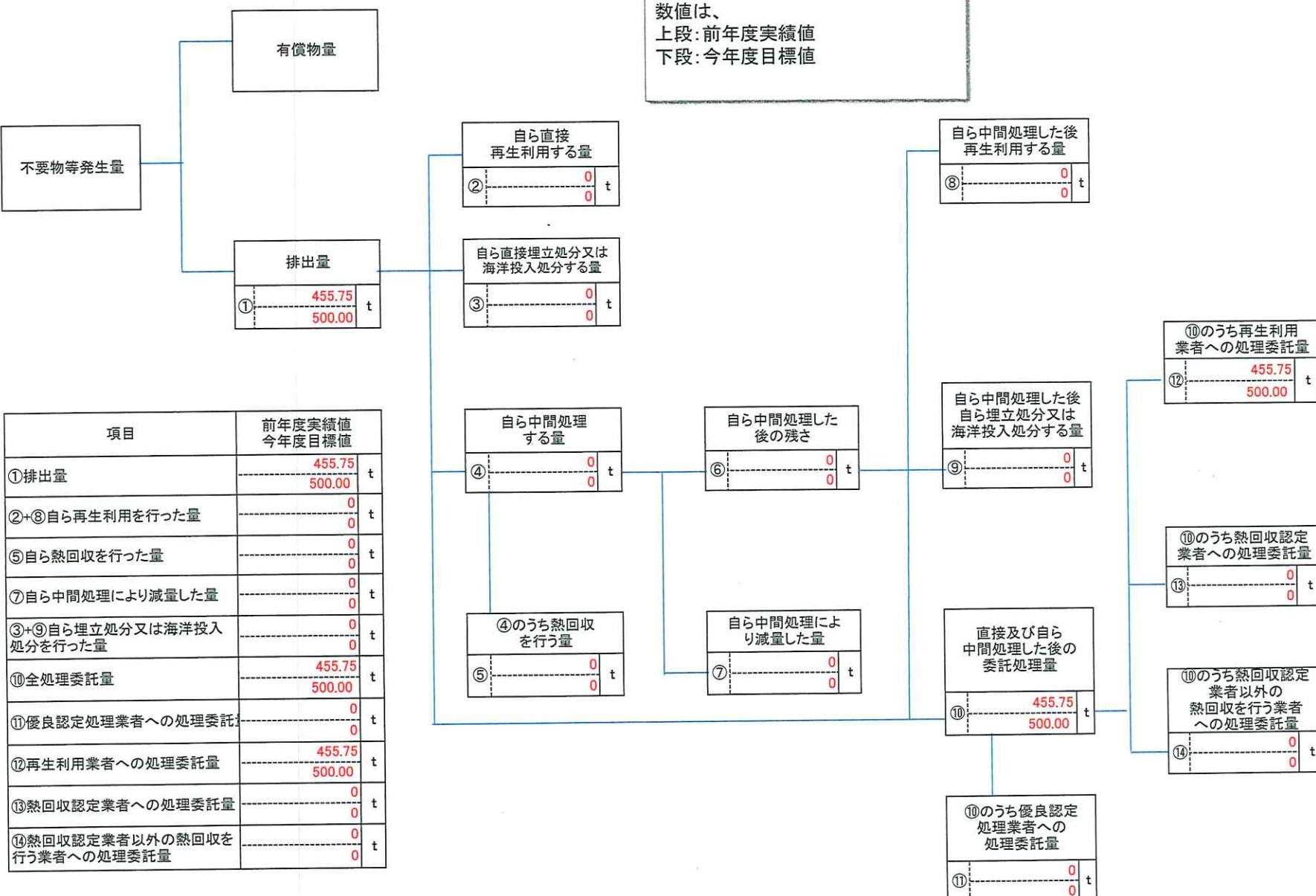
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙4】前年度の実績と今年度の計画

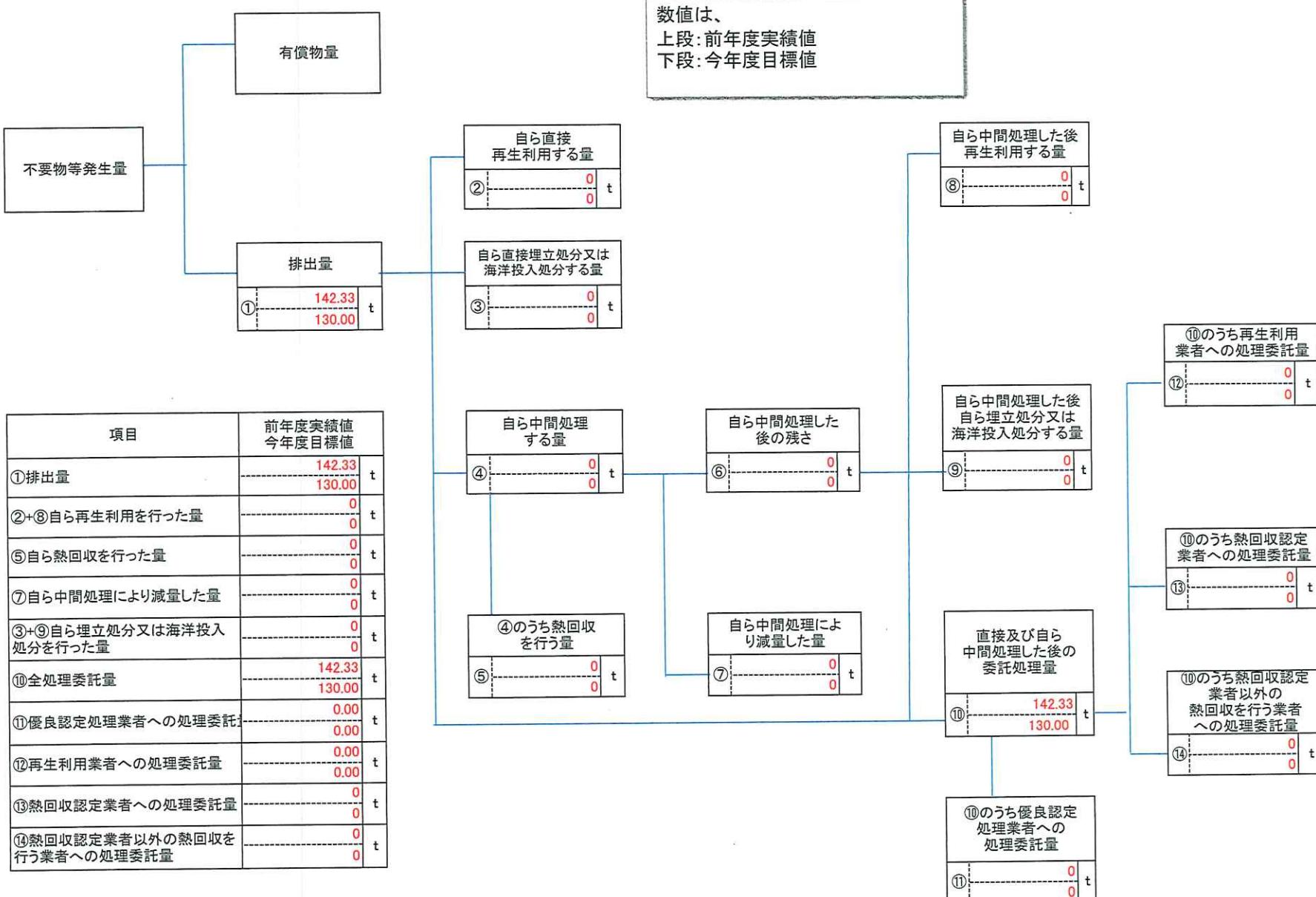
(産業廃棄物の種類: アスファルトがら)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙4】前年度の実績と今年度の計画

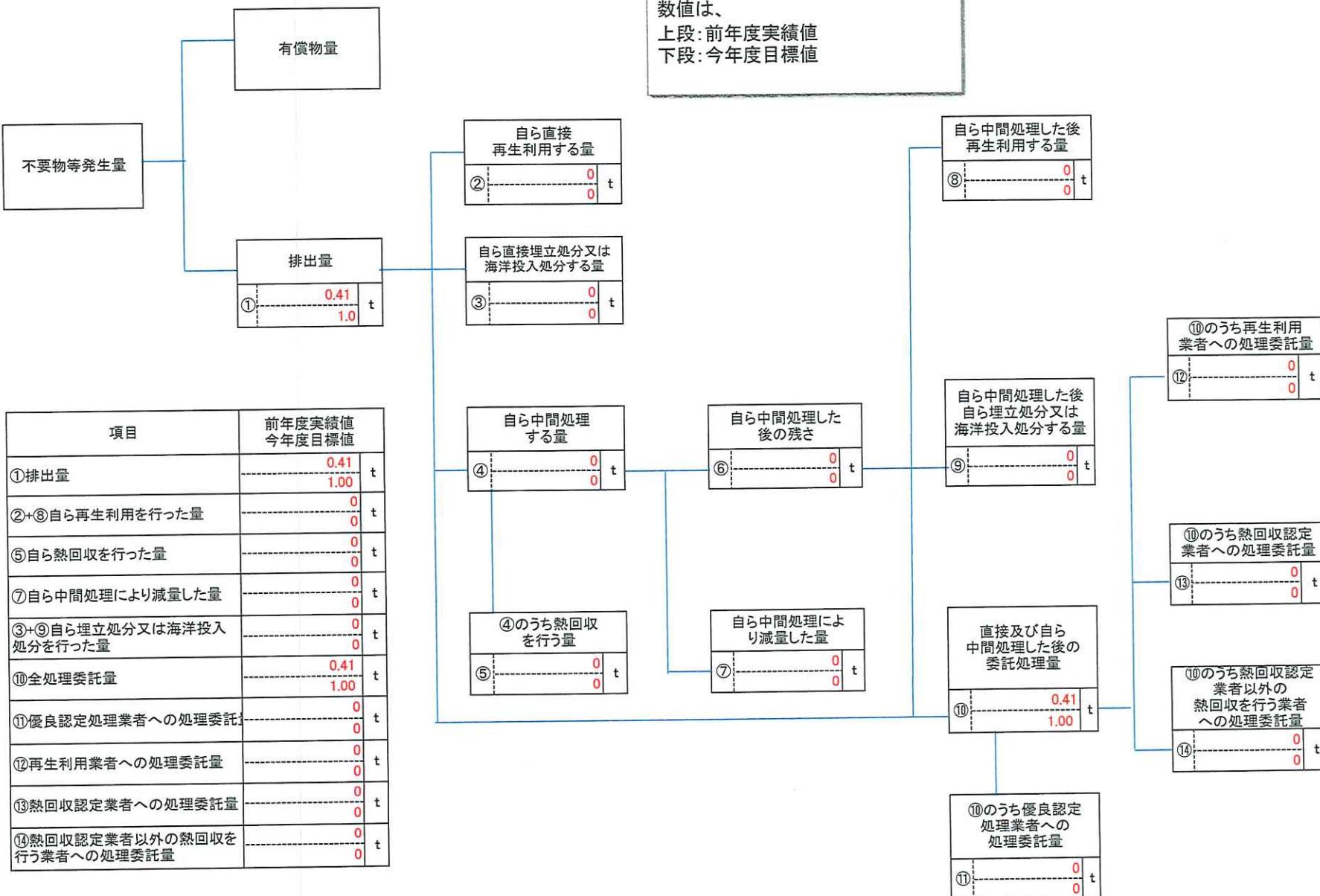
(産業廃棄物の種類: その他がれき類)



【別紙4】前年度の実績と今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

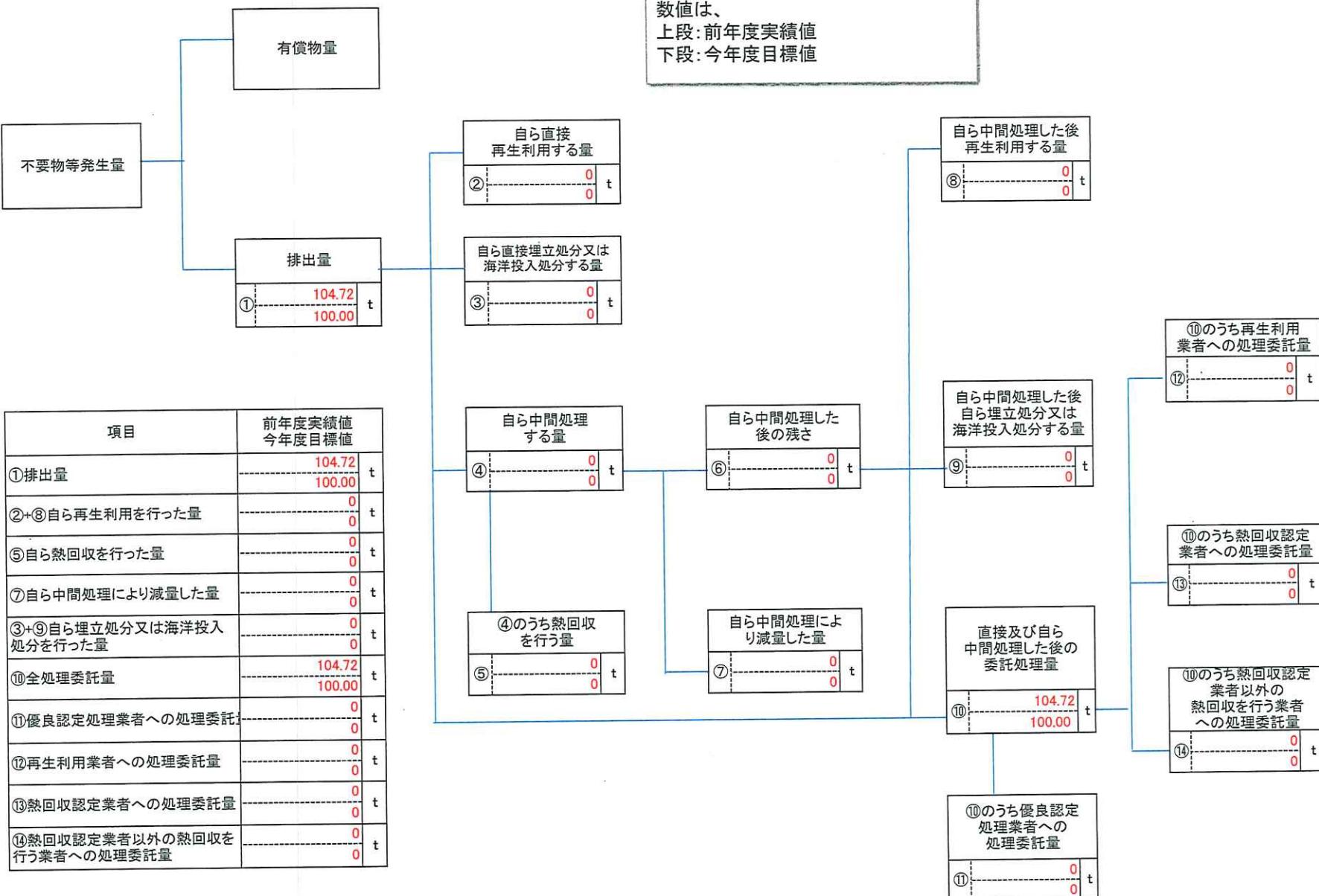
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙4】前年度の実績と今年度の計画

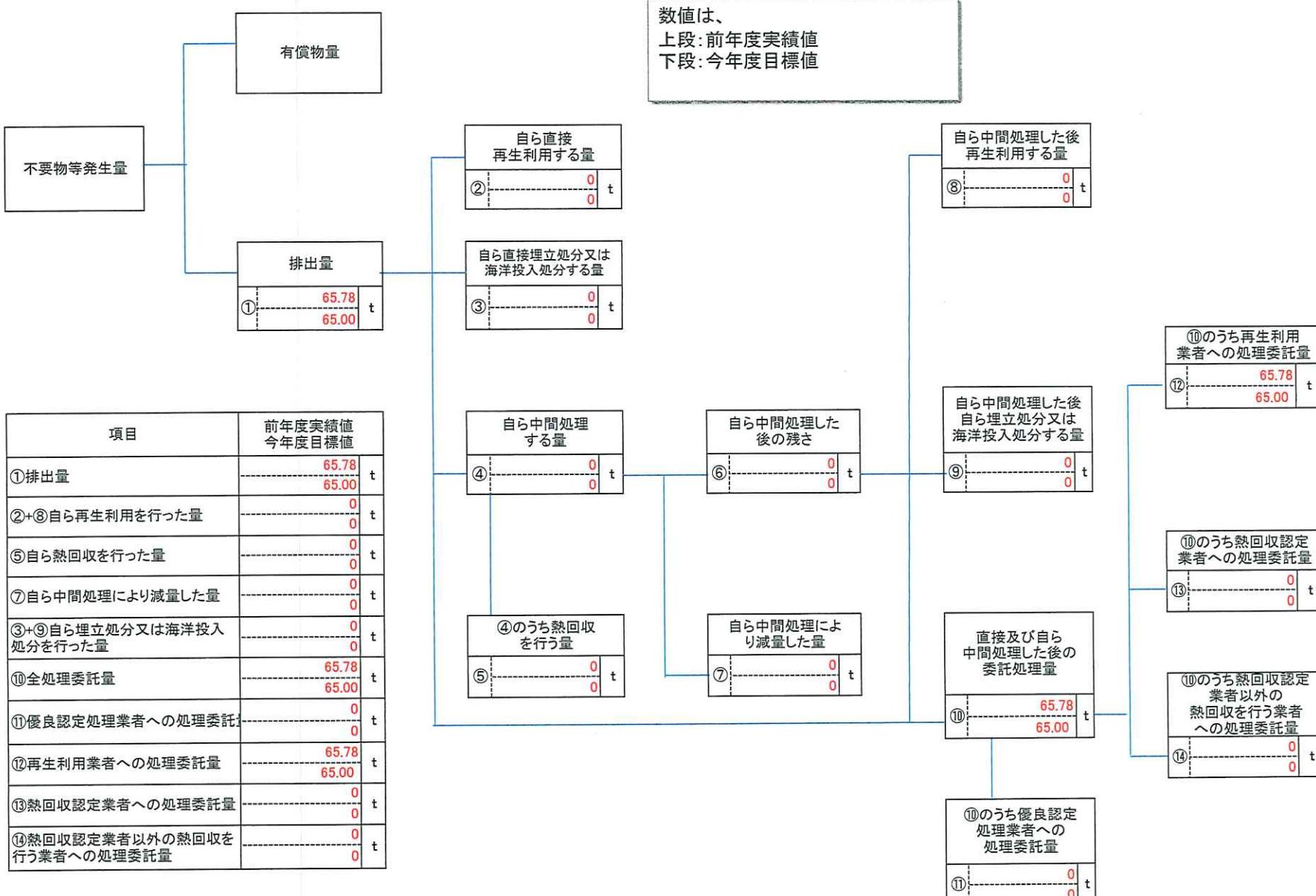
(産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず)

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値



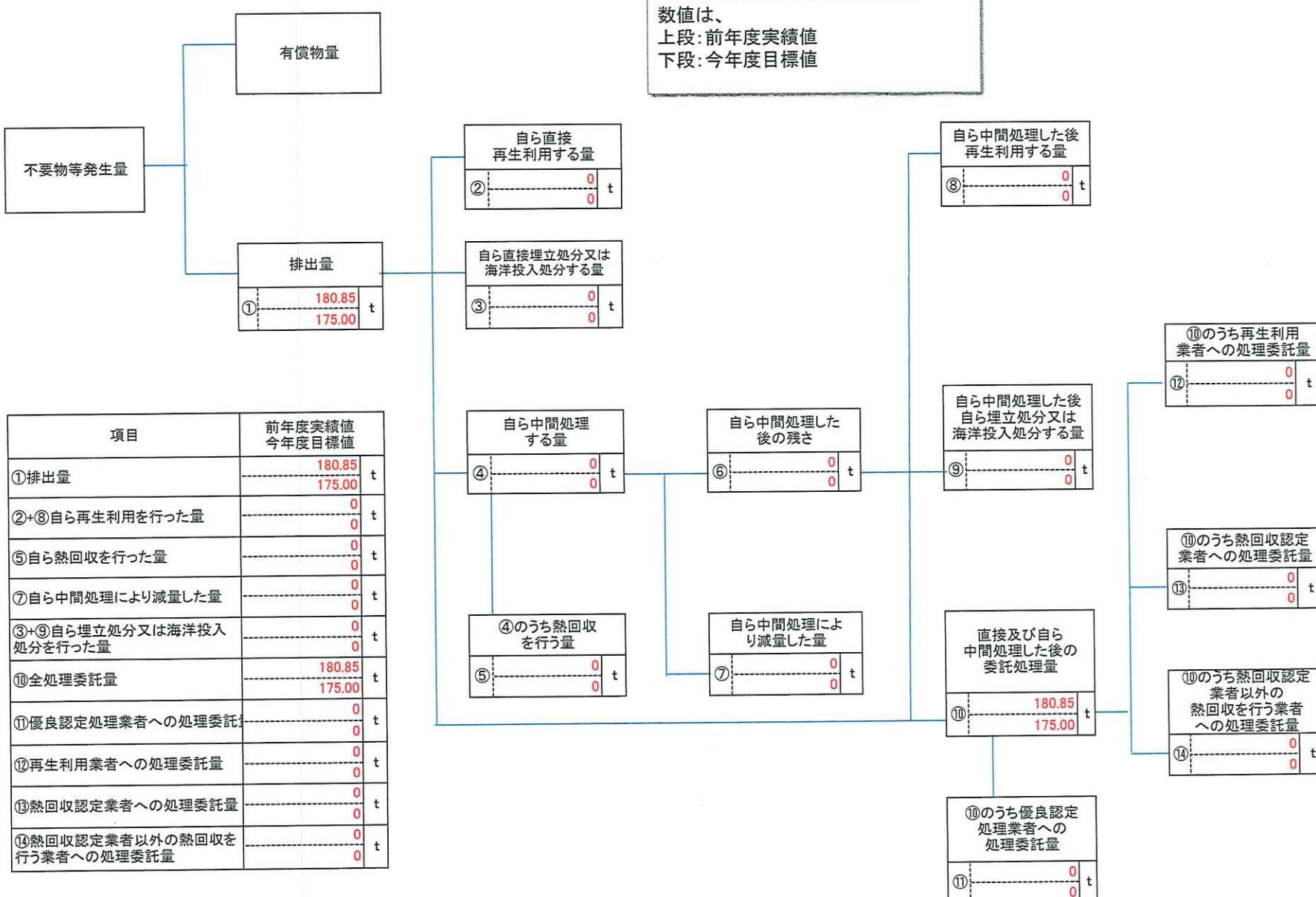
【別紙4】前年度の実績と今年度の計画

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



【別紙4】前年度の実績と今年度の計画

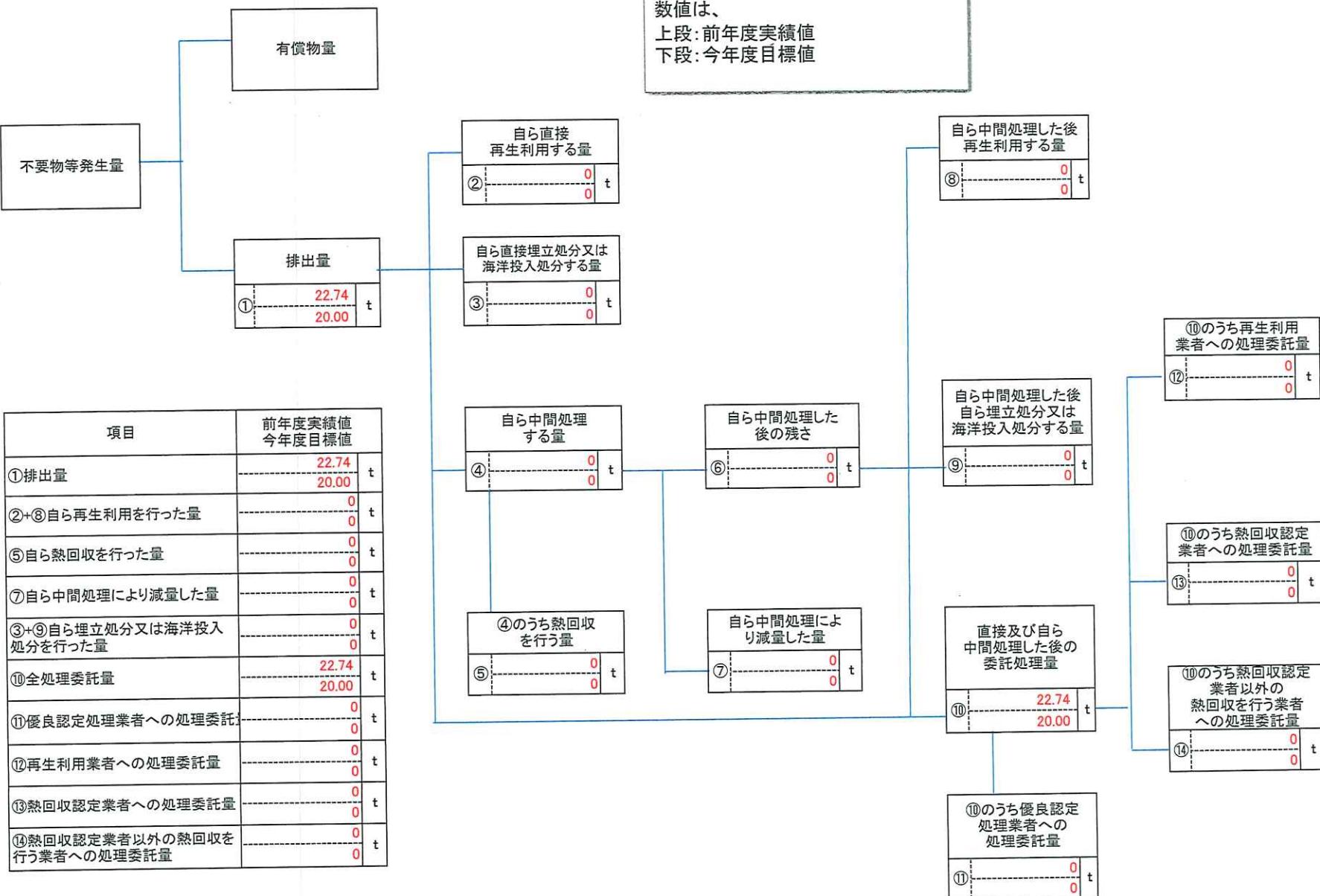
(産業廃棄物の種類：廃石膏ボード)



【別紙4】前年度の実績と今年度の計画

(産業廃棄物の種類： 繊維くず)

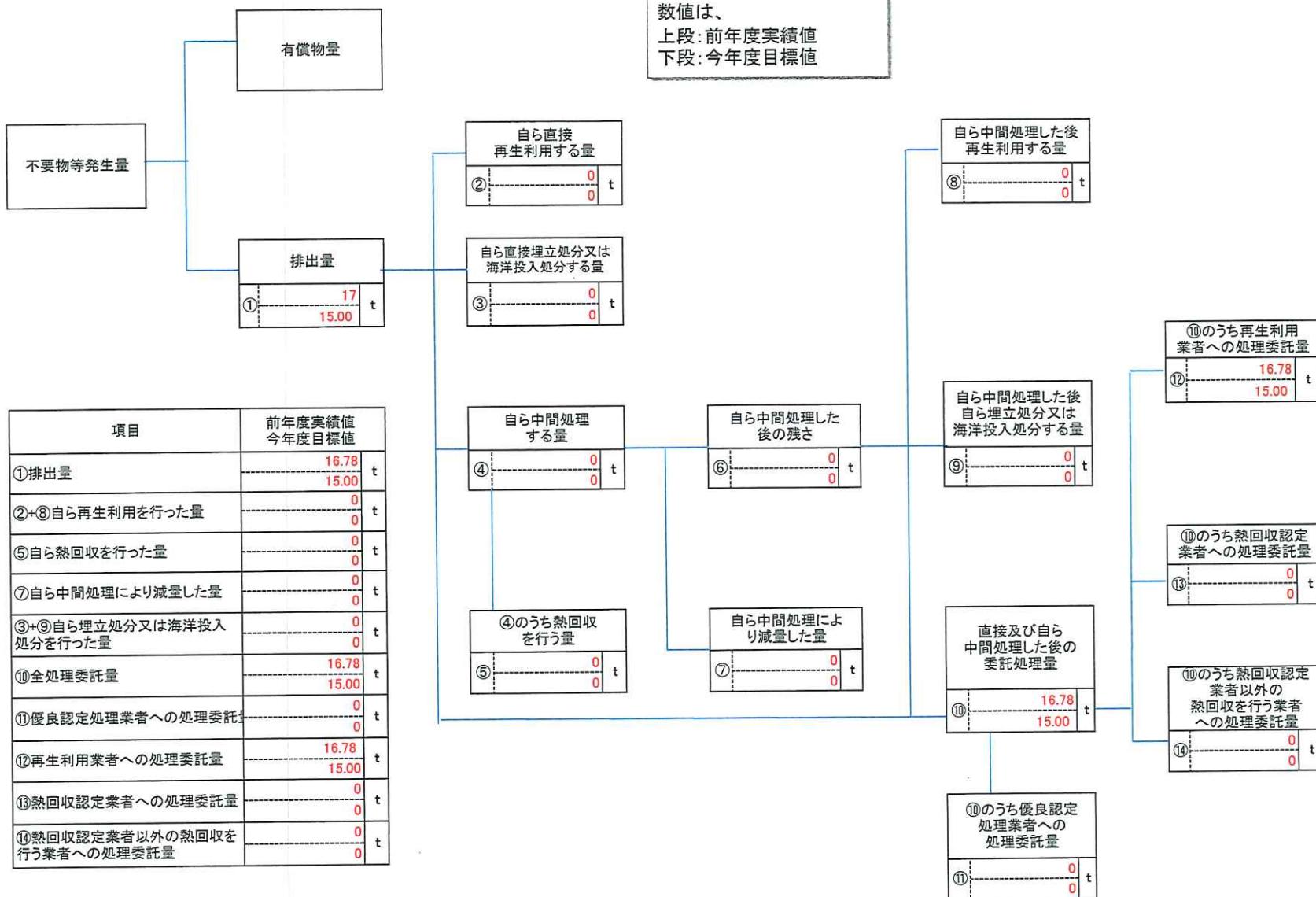
数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: ガレキ)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙4】前年度の実績と今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 燃えがら)

有償物量

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

不要物等発生量

排出量

① 0.77 t
15.00 t

自ら直接
再生利用する量

② 0 t
0 t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③ 0 t
0 t

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧ 0 t
0 t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 0 t
0 t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	0.77 t 15.00 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t 0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t 0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t 0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t 0 t
⑩全処理委託量	0.77 t 15.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t 0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0 t 0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t 0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t 0 t

自ら中間処理
する量

④ 0 t
0 t

自ら中間処理した
後の残さ

⑥ 0 t
0 t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨ 0 t
0 t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑫ 0 t
0 t

④のうち熱回収
を行う量

⑤ 0 t
0 t

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦ 0 t
0 t

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩ 0.77 t
15.00 t

⑪のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭ 0 t
0 t

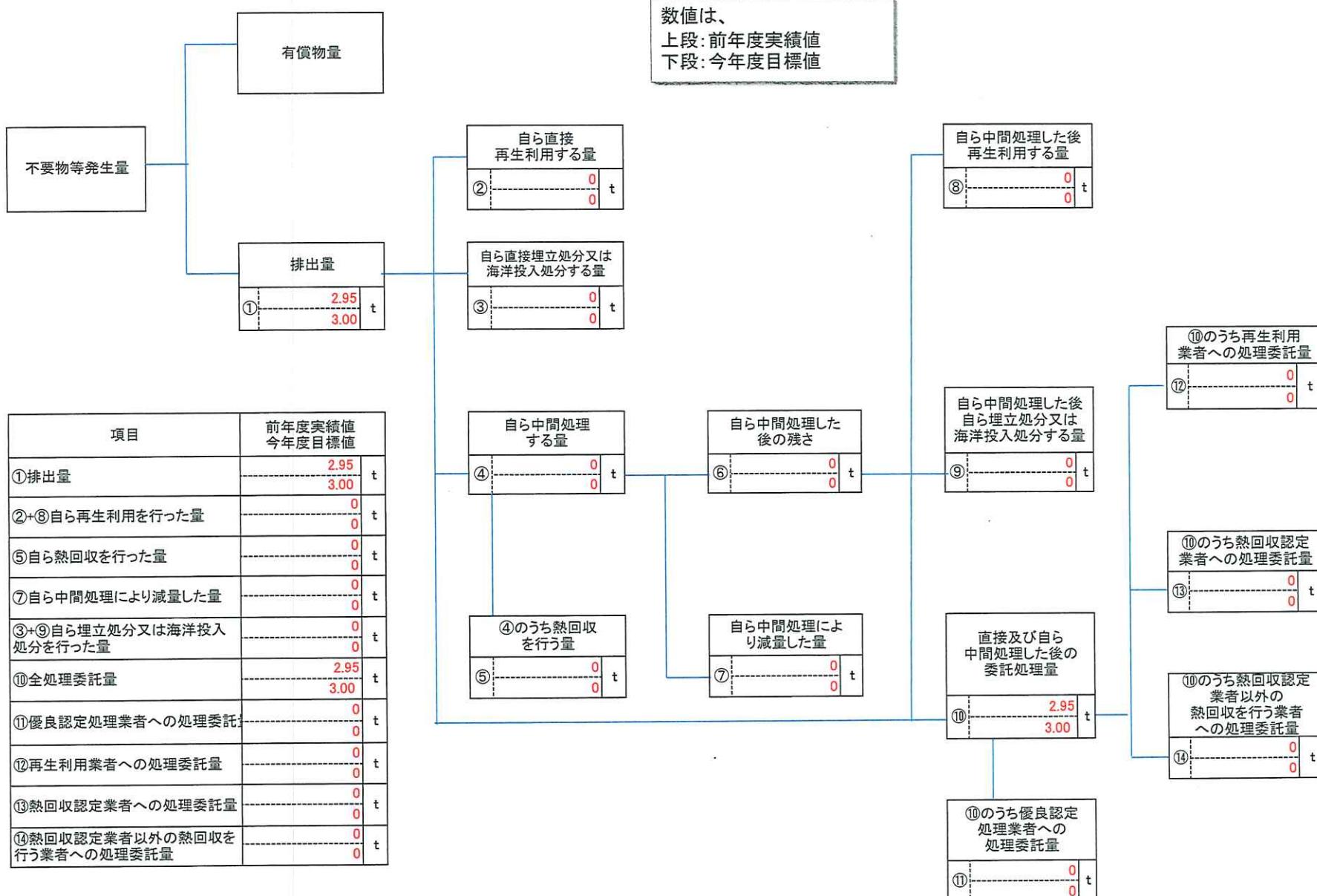
⑪のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑫ 0 t
0 t

【別紙】今年度の計画

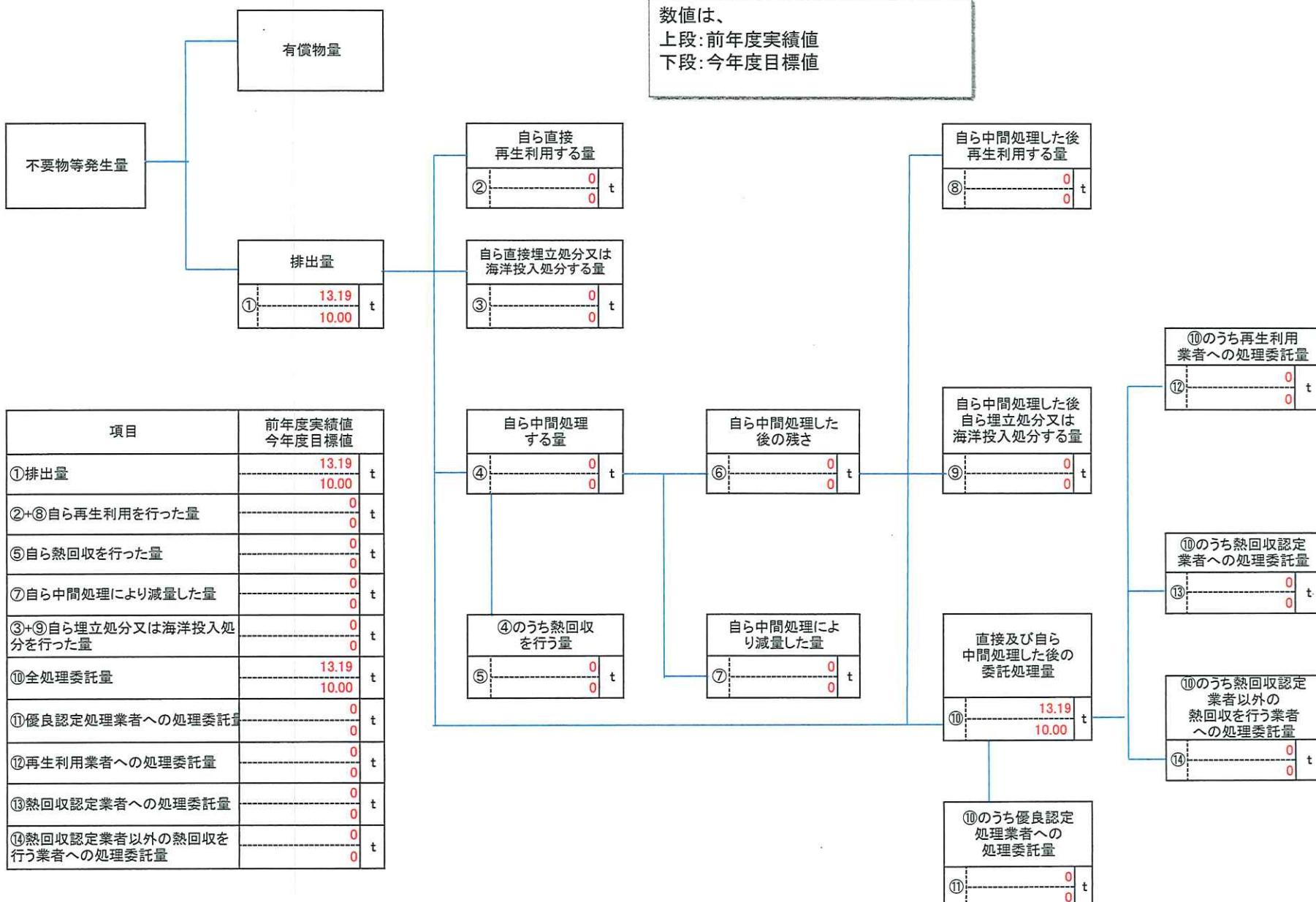
(産業廃棄物の種類: 金属くず)

)



【別紙4】前年度の実績と今年度の計画

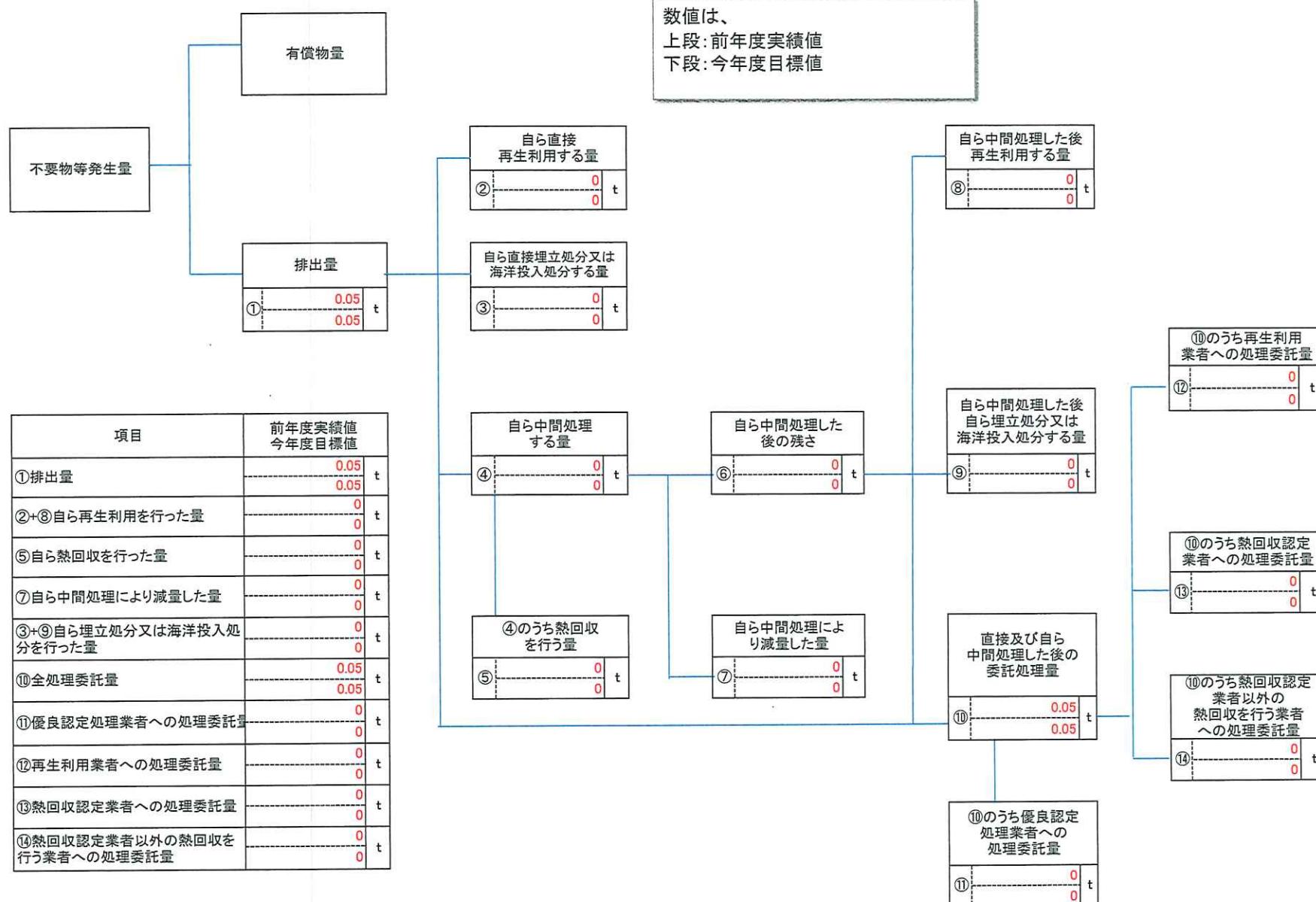
(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)



【別紙4】前年度の実績と今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品産業廃棄物)

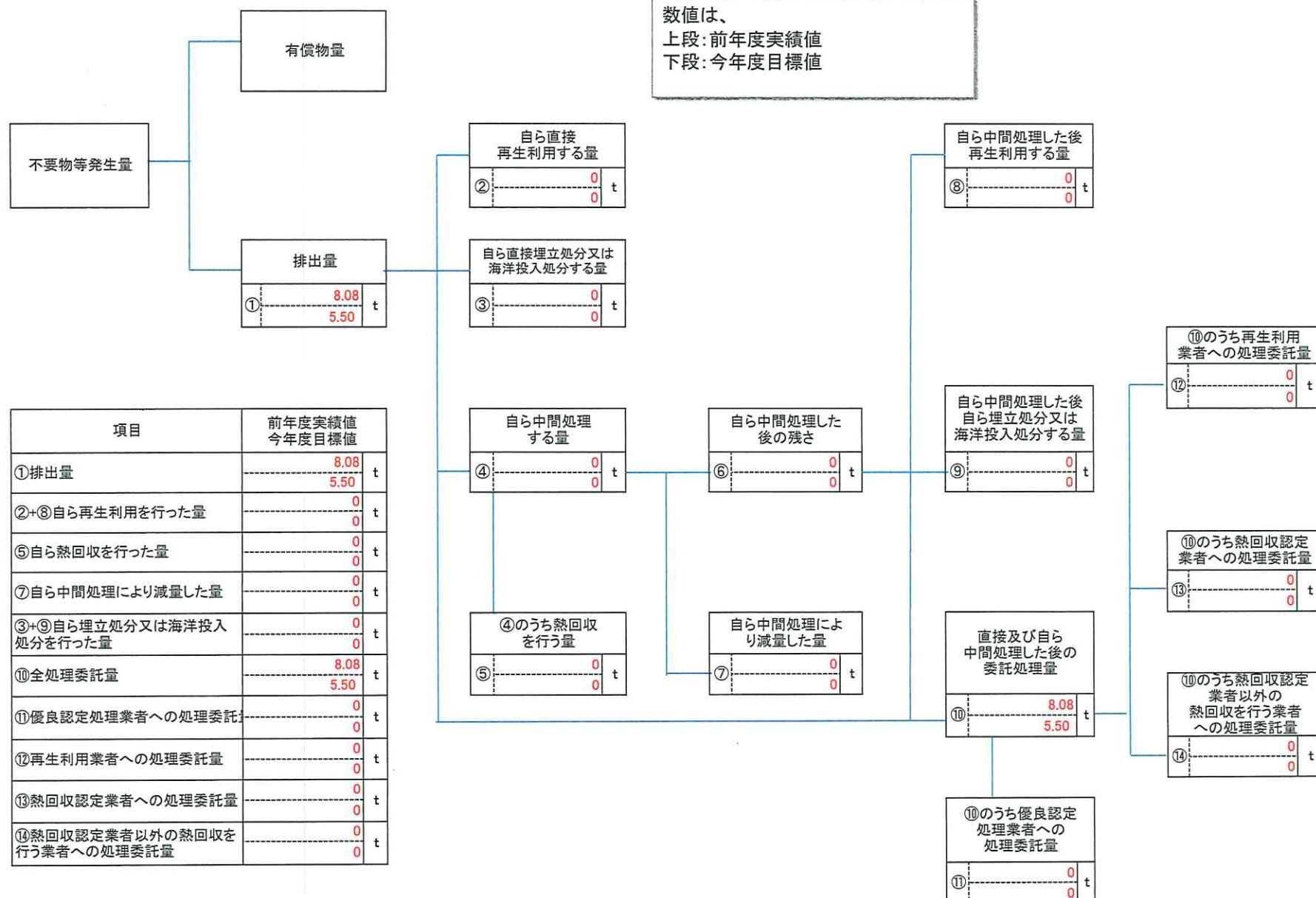
)



【別紙4】前年度の実績と今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 混合 (安定型))

)



【別紙4】前年度の実績と今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 木くず)

)

有償物量

数値は、
上段: 前年度実績
下段: 今年度目標値

不要物等発生量

自ら直接
再生利用する量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

自ら中間処理した後
再生利用する量

排出量

自ら中間処理
する量

自ら中間処理した
後の残さ

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

④のうち熱回収
を行う量

自ら中間処理によ
り減量した量

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑤のうち
0 t

⑦のうち
0 t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑥のうち
0 t

⑩のうち
631.94 t
620.00 t

⑨のうち
0 t

⑪のうち
0 t

⑩のうち
0 t

⑫のうち
0 t

⑪のうち
0 t

⑬のうち
0 t

⑫のうち
0 t

⑭のうち
0 t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	631.94 t 620.00 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t 0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t 0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t 0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 t 0 t
⑩全処理委託量	631.94 t 620.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託 量	0 t 0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	631.94 t 620.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t 0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0 t 0 t

⑪のうち再生利用
業者への処理委託量

⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑪のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑪のうち
0 t

【別紙4】前年度の実績と今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃油)

